

徳島県立那賀高等学校

# せせらぎ新聞

第72号

発行/那賀地域中高一貫教育  
研究委員会事務局  
(徳島県立那賀高等学校内)  
電話: 0884-62-1151  
FAX: 0884-62-2590  
那賀高校ホームページURL  
http://naka-hs.tokushima-ed.jp/

「誰もが主役になれる那賀高校」をめざして！  
地域に開かれた活力ある学校づくりの推進



校長 山本 珠紀

本年四月から那賀高校で勤務させていただいております。私は元々、吉野川上流の山の麓で生まれ育ったこともあり、太龍寺の麓、那賀の流れと山々に包まれた本校の環境が、自分には自然なもので、非常に懐かしさを感じられます。この素晴らしい環境のもと、「Anyone can be a star」(誰もが主役になれる) 那賀高校をめざして取り組みたいと考えています。

昨年は三月から五月下旬まで、全国のほとんどの学校が「一斉に臨時休業」となり、県高校総合体育大会が中止、夏季休業の大幅な短縮そして修学旅行が中止という、言葉にしては言い表せないくらい辛く苦しい一年となりました。本年度も「新型コロナウイルス感染症」への対応が迫られています。生徒の活動については、徐々に戻りつつあります。本校といたしましては、「チーム那賀高」として生徒の安全・安心を守るために万全の体制を整えた上で、日々の教育活動に取り組んでいく所存です。

さて、令和三年三月に六十二名の生徒が卒業、四月八日新たに普通科四十二名、森林クリエイト科百八十一名で新年度・新学期がスタートすることになりました。本年度も那賀町内の連携三中学校からは、多くの生徒が入学してくれました。那賀高校ならではの教育活動の推進などに重点を置き、生徒が主体的に学ぶ活動を様々な場面で多く取り入れていきたいと思っております。森林クリエイト科では六期生を

迎え、那賀町、県、国の関係機関の方々から生徒の教育に御協力をいただきながら、林業関連産業のスペシャリストをめざしてまいります。今春の卒業生は、林業関連企業八名、県庁や国における林業系の技術職二名、徳島大学生物資源生産学部等に就職・進学しました。木育活動と六次産業化への取組として、阿南市のホテルサンオーシャンで展示販売を昨年に行っています。また、地元企業の方々のコラボレーションでモンベルのフレンズマーケット(オンラインショップ)や、星野リゾート・リゾナール熱海でも販売していただいています。これらの取組が徐々に浸透しています。これらの取組が徐々に浸透しています。阿南・那賀防犯連合会の「地域で見守りプロジェクト」では見守り見守り(ベンチ)の文字入れを担当させていただきました。海外のお客様へのお土産の方からは、紙の継承活動も継続しており、昨年度も三年生全員が紙漉き実習を行い、世界で一枚だけのオリジナル卒業証書を作成しました。普通科ではコース選択制を取り入れ、「二・三学年で「情報ビジネス」「福祉」「総合教養」「応用」の四コースに分かれ、より専門的・実践的に将来の進路に備えます。地域の特長を生かした取組として、相模原市で染めたマスクの作成・配布や、町内の福祉施設における介護実習やボランティア活動、服のリサイクル活動である服活等が挙げられます。

ます。防災クラブでは、自然災害等に備えた「なかなか美味し防災レシピ集」の改訂版の発行やYouTubeへのweb掲載を行い、六年連続で「徳島県まなぼうさい活動賞」を受賞しました。さらに、那賀町教育委員会の推薦をいただき、青少年育成徳島県民会議表彰「はばたき賞」も受賞しています。

また、徳島県の「スーパードリーム」ハイスクール事業に本校は毎年認定されており、本年度も「補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)の普及について」一人でも多くの人に知ってもらうために、というテーマで認定をいただいています。補助犬の普及・啓発活動を通じて、誰もが生活しやすい社会をめざします。

本校は部活動への参加率が高く、運動部・文化部ともに活発に活動しています。昨年度は中止となった県高校総体に本年度は出場ができました。カヌー部の部員五名が昨年度は「東京二〇二〇オリンピック」の県内における最終聖火ランナーに選ばれていましたが、本年度改めて「徳島ホストタウン特使」を委嘱され、聖火リレーの最終グループとして参加することができました。

「地域とともにある学校づくり」推進の取組として、本校は県立学校の中では先駆けて、昨年度より学校運営協議会制度を導入しています(コミュニティ・スクール)。

この制度は、地域住民の皆さんが学校の諸課題に対して、学校ともによりよい学校をめざす取組を充実させることを目的としています。本年度も第一回の協議会が開催され、各委員から貴重な提言をいただきました。

昨年度は実施できなかった驚敷小学校二・三年生の皆さんとのサツマイモの定植を、六月八日(火)に実施することができました。秋にはイモ掘りができそうです。また、木育活動等で相生小学校との交流もさせていただいています。

本校創立当初の昭和二十七年から組織されている那賀高等学校教育振興協議会と那賀町からは、他校では類を見ないほどの様々な援助をいただいております。今後も地域に開かれた活力ある学校づくりに努めます。

「Dreams come true」 那賀高校は、生徒の夢が実現する学校をめざしています。そのために、教職員一丸となり魅力ある学校づくりを実現してまいりますので、変わらぬ御支援・御協力をお願いいたします。

## 県高校総体に出場して



**バドミントン部**

私たちバドミントン部は、それぞれの目標を目指し個人戦に挑みました。3年生2名と少ない中でしたが、精一杯プレーし、悔いなく終わることができました。



**卓球部**

今年度は3年生の最後の総体が開催され、大変嬉しかったです。1年生に女子部員が入部してくれたので、徐々に男女揃って団体戦への出場ができました。これまでの練習の成果を十分に発揮できた大会になりました。



**バレーボール部**

私たちバレーボール部は、阿波高校と対戦し、0(23-25・22-25)2で負けてしまいました。10月の春高予選では、このような悔しい思いで終わらないように、日々練習に励みます。



**弓道部**

6月5日・6日に、鳴門大塚スポーツパーク弓道場で県高校総体が開催されました。男子は団体戦に4名、女子は個人戦に3年生2名、補助として2年生1名が出場しました。私自身、高校生最後の大会でしたが、一番集中し落ち着いた射ができ、個人戦で準決勝まで進むことができました。決勝進出は逃しましたが、成績よりもチームの心が一つとなり、全員が笑顔で大会を終えることができて、弓道を続けて本当に良かったと実感しています。3年間ご指導いただいた鈴木師範や顧問の先生、支えてくれた家族、関係者の方々全てに心から感謝します。ありがとうございました。



**カヌー部**

今年度も本校カヌー部のみの出場でしたが、出場選手23名が男女合わせて9種目のレースを行いました。それぞれの種目に優勝した選手は、8月に福井県で開催されるインターハイに出場します。勝ち上がることができなかった3年生は今大会で引退となり、レース後には涙を流す選手もいました。みんなが最後まで頑張り、大変感動する大会となりました。



**硬式野球部**

総体では、思うような結果を残すことができませんでした。得た課題を、残りの練習で克服して、夏の選手権大会では、一つでも多く勝てるように頑張ります。



**ソフトテニス部**

雨天で練習できない日が続きましたが、試合当日は一人一人が全力を出し切り、悔いの残らない試合ができました。特に個人戦では、部長・副部長のペアが1回戦を突破することができました。

### 入学式

四月八日(木)、那賀高校教育振興協議会会長(那賀町長)をはじめご来賓四名のご出席をいただき、入学式を行いました。普通科四十二名、森林クリエイト科十八名、計六十名が那賀高生として新たなスタートをきりました。新入生を代表して、今年度は普通科の貝野愛夢さんが、那賀高校で地域創生の担い手としての自覚を持ち、勉学や部活動に励み、自己を磨くことを宣誓しました。

### 入寮式

四月八日(木)、入寮式を行いました。今年度は総勢二十名の生徒が若鮎寮・竜峰寮となり、寮生長の廣内寿瑛瑠さんが歓迎の言葉を述べ、新入寮生代表として、中田早映さんがこれからの自立・自律を目指す寮生活への決意を宣誓しました。若鮎寮・竜峰寮の両寮の伝統が、新入寮生の皆さんに受け継がれていくことを期待しています。

### カヌー部 四国総体 出場!!

愛媛県で開催された四国総体に本校からカヌー部の男女が出場しました。6月14日(月)には四国総体の壮行会がリモートで行われ、主将の川田さん(31HR)をはじめ出場選手全員が決意の言葉を述べました。校長先生と生徒会副会長の清さん(32HR)からの激励の言葉を真剣な表情で聞いていました。



# コミュニティ・スクール (学校運営協議会)

徳島県教育委員会では、令和4年度をめどに、すべての県立学校にコミュニティ・スクールの導入をめざしています。本校では、令和2年度に県内の県立高校でもいち早くコミュニティ・スクールを導入しました。

昨年度は、岡川委員長(那賀町教育委員会教育長)を含め7名の委員で、年3回の協議会を開催しました。コロナ禍により、地域との連携を図り本校の教育活動の充実に資する活動は、残念ながら十分に行うことはできませんでしたが、本協議会の各委員を通じて、那賀町、徳島大学、大塚製薬株式会社等と連携を図り、従来にない研修会への参加や、施設見学、講演会を実施することができました。

今年度は、5月25日(火)に第1回学校運営協議会を本校で開催しました。山本校長より、令和3年度学校経営方針を説明し、各委員の承認をいただきました。今後も、各委員のご助言をいただきながら、本校教育の充実・発展をめざしていきます。



# フォレストキャンパス那賀 入山式

5月12日(水)、森林クリエイト科第6期生17名が、3年間林業実習を行う「フォレストキャンパス那賀」での入山式に参加しました。南部総合県民局長の枝川様をはじめ、来賓の方々より励ましの言葉をいただきました。また、同局廣田様より那賀町の林業や実習内容についてご説明をいただきました。生徒代表として、末見佳祐さんが、今後の学習に対する決意を述べ、これからの活躍を誓いました。あいにくの雨でしたが、研修、フィールドワークとも無事に終えることができました。



# 洗濯出前授業

6月9日(水)、制服の専門家である管公学生服株式会社の方をお招きし、1年生を対象に、洗濯に関する出前授業を行いました。制服の扱い方や洗濯方法、洗剤の性能や使い分けなどをクイズ形式で講義していただきました。クイズに正解した上位3名には、特別賞として洗濯関連の洗剤詰め合わせセットがプレゼントされることもあり、積極的に参加している生徒の姿が多くみられました。制服を自ら定期的に洗濯し、自立した生活を送ることができるよう心がけたいと思います。



# 那賀高校 教育振興協議会



6月8日(水)に那賀町地域交流センターにおいて、会長の坂口博文那賀町長をはじめ本会員16名にご参加いただき、令和3年度の総会を開催しました。総会では、令和2年度事業報告や会計決算報告及び監査報告がなされ、続いて令和3年度事業計画等の議案が承認されました。また学校への提言として、「振興協議会は発足以来70年、那賀高校の教育振興を図り、施設・内容の充実を目的に活動しており、今後も本校を支援する。」との大変ありがたく、心強いお言葉をいただきました。会長をはじめ役員の皆様方の期待に応えるべく、地域とともに、そして生徒とともに歩んでまいります。今後ともご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

# 刈払機取扱作業者 安全衛生教育

5月26日(水)、森林クリエイト科1年生を対象に「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」講習を、那賀町林業テクノスクールのご協力のもと実施しました。6期生として入学後、初めてとなる林業関係の資格取得ができました。機械操作などを丁寧に教えていただき、生徒も積極的に講習に参加していました。今回習得した知識や技術を、今後の林業実習に役立てていきたいと思います。



# 令和3年度 スーパーオンリーワンハイスクール 事業実施校認定証授与式

5月25日(水)、徳島県職員会館において令和3年度スーパーオンリーワンハイスクール事業審査会が行われ、本校から代表生徒3名が出席しました。「補助犬の普及・啓発について～一人でも多くの人に知ってもらうために～」をテーマに、JRC部・家庭クラブ・森林クリエイト科を中心に、取り組む内容について発表しました。直前は非常に緊張していましたが、本番になると笑顔でハキハキと発表し、審査員からの質問にも適切に答えることができました。そして、6月7日(水)、徳島グランヴィリオホテルで行われた、令和3年度スーパーオンリーワンハイスクール事業実施校認定証授与式では、飯泉知事より認定証を授与され、激励の言葉をいただきました。今後、本校から補助犬についての様々な活動を発信していきます。



# GIGAスクール

本年度から、生徒1人1台タブレット端末の活用が始まりました。6月は「とくしま・GIGA推進月間」として、多くの授業や学校行事で生徒端末を活用した取組がなされています。また本校は、昨年度に電子黒板が導入されており、生徒端末と併せて活用することで個別最適化された教育活動を推進し、生徒たちの可能性を広げることにつなげたいと考えています。今後はこの環境を有効活用し、国際交流や遠隔教育など、本校の特色ある教育活動をさらに発展させていきます。

活動は那賀高校HPに  
随時アップしていきます。



# 木工作品の紹介

森林クリエイト科では、実習を通して那賀町で産出された木材を利用し、様々な商品を開発しています。

木材加工専攻班は、キッズチェアやスマホスピーカー等を作成しています。また地域資源専攻班は、株式会社「N&E」をはじめ様々な企業と連携し、スマホスタンドやパズル等を作成しています。

これらの商品は、各企業や阿南市の「ホテルサンオーシャン」で販売させていただいております。お立ち寄りの際は、是非ご覧ください。



# 令和3年度 防災クラブ立ち上げ式

5月13日(水)視聴覚室にて、令和3年度防災クラブ立ち上げ式を実施しました。本校の防災クラブは、生徒会役員、防災推進委員、JRC部員で構成されています。今年度の防災クラブ員は34名です。校長先生からの激励の言葉の後、防災推進委員長やJRC部長よりこれまでの活動内容と今年度の活動計画を紹介しました。コロナ禍で活動が制限されるかもしれませんが、感染症予防に努め、できる限り充実した防災活動を実践したいと考えています。

